

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2018 年度

法人名	NPO 法人ワークーズ ユープかがやき	代表者	新井 厚美	法人・事業所の特徴	「わが家で暮らし、わが家で老いる」を実現するために、平成 23 年善光寺さんに程近い場所に開所しました。平成 29 年 10 月現建物に移転。安全で広く使いやすくなった環境を提供し、ご利用者様おひとりおひとりに出来る事を継続していただけるよう、スタッフが関わりを多く持ちながら個別ケア対応で支援させていただきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 たわわ善光寺下	管理者	片岡 茂子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	2 人	人	1 人	1 人	人	3 人	人	9 人

項 目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画	
A. 事業所自己評価の確認	より具体的に改善できそうな計画を、項目ごとに現時点で必要な事に絞る		・忙しい中ミーティング・カンファレンスを行っていることは今年も評価できる。 ・毎年時間を割いて行うがサービス評価の意味が今一つ理解できない。話し合いをすることに意味があるのか…。		・改善する点が多岐にわたるので今年は「ここ」と絞ってやる方が良いのでは…。継続の計画でも良い。		・具体的に改善できそうな事に絞り、現時点で必要な事を項目ごとに改善計画を立てる。	
B. 事業所のしつらえ・環境	・フロアの整理整頓に努め、利用者さんの動線の確保を優先しより安全にお過ごしいただける空間作りをする ・「居場所」と思っていただけの住環境を提供していく。		・季節を感じる壁画等工夫して殺風景にならないよう、且つゴテゴテになっていない。 ・排泄物処理については以前からスタッフ全員が充分気をつけている。		・利用者さん家族や地域のボラさん他事業所関係者含め外部からの人の出入りは常にある。 ・常にスタッフがいるので出入りはしやすい。		・居場所として認識できるような工夫 ①定位置の座席・泊時の静養室の固定化等混乱しない様な配慮をする。 ②利用者さんが自由に動きながらも見守りが行き届くようなチームケアを行う	
C. 事業所と地域のかかわり	・移転後の地域の行事等を把握し参加出来る行事には少人数でも参加していく。 ・地域の方が参加できるような「カフェ」の開催を検討し、実施する。		・たわわ祭に変わるイベントを開催した。今回は中に目を向けたが、次回は地域に目を向けて考えていきたい。 ・カフェの開催が 1/月で 5 月から継続している。参加人数はまだ少ないが続けていきたい。		・災害時等の対応を設定しておくのは大事。 ・新しい事をやろうとするのも大事だが、今やれていることを継続してほしい。		①地域に提供する場所の確保 歩行中の近隣の方がお休みできるような場所を施設前の駐車場に提供をする。 ②たわわカフェの継続	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・近隣への散歩を継続し、地域の方にスタッフが積極的に挨拶をして馴染みの関係を構築する努力をする		・地域に出ていくことは大切と思うが、利用者さんの心身状態をみると負担が大きい。落ち着いて過ごせれば外に目を向けずとも施設内で充実していれば良いのではないかと思う。		・地域の行事イベント参加は無理でも地域の事を話題にすることは必要だと思う ・近隣への散歩でも意味はある		・散歩・買物・外食等外に出る機会を多くする。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める		・地域の事は個人情報に触れる事が多いので詳しく話すことが難しい場合がある。		・地域の中で起こっている事に対して介護施設として関わりが持てる場合は積極的にお手伝いをしていくことが大事。 ・様子も分かっているので相談しやすい雰囲気は出来ていると思う。		・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める	
F. 事業所の防災・災害対策	・年 2 回地域の避難訓練に参加する		・避難訓練の実施報告は運営推進会議で行っているのたわわの様子は大体分かっている。 ・地域の避難訓練の日程と合わず参加できなかった ・スタッフだけでも参加したほうが良かった		・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うこと ・天災は防ぎようが無いが自施設からの災害を出さないように十分注意していくことが大事。		・年 2 回の避難訓練の実施（9・3 月）	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	7		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7		

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・業務が忙しい中でスタッフミーティングが行えている点は今年も評価できる。
- ・より具体的な意見がありスタッフが関わりを持っていることが評価できる。
- ・改善する点は毎年あるが日々の業務をしながらさらに進めるのはたいへんだなあと思う。
- ・毎年時間を割いて行うがサービス評価の意味が今一つ理解できない。話し合いをすることに意味があるのか…。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・日々の仕事に追われ意識することが難しいと感じた。
- ・出来ている点も多くあってよかった。
- ・出来なかったことは引き続き検討していつてもらいたい。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・具体的な意見は多いが日々の業務の中で行うのは簡単ではないように思う。
- ・改善点があることを出しあいそれを皆が意識することが大事。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・時間が足りない中でミーティングやカンファレンス等の開催は継続してほしい。
- ・介護保険制度すら難しく理解できていないので改善点や意見をとられても困惑が多い。
- ・業務の間に行うのはたいへんだなあと思うが、決まりなので頑張ってください。

【改善計画】※後日記入

- ・具体的に改善できそうな事に絞り、現時点時で必要な事を項目ごとに改善計画を立てる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・利用者さん家族や地域のボラさん、他事業所関係者含め外部からの人の出入りは多い。
- ・常にスタッフがいるので出入りはしやすい。
- ・臭いに関しては十分気をつけているように思う。新しい建物で明るく落ち着いてゆったり過ごしている感じが伝わってくる。

【前回の改善計画】

- ・フロアの整理整頓に努め、利用者さんの動線の確保を優先しより安全にお過ごしいただける空間作りをする。
- ・「居場所」と思っただけの環境を提供していく

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・移転後は広くなったが、動きに無駄が出ないように家具や使用品の置き場所に気をつけている。
- ・季節を感じる壁画等工夫して殺風景にならないよう、且つゴテゴテになっていない。
- ・排泄物の処理については以前からスタッフ全員充分気をつけている。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・「居場所」として認識していただけるような工夫をする。
定位置の座席・泊時の静養室の固定化等混乱しない様な配慮をする。
- 利用者さんが自由に動きながらも見守りが行き届くようなチームケアを行う。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		2
1	職員はあいさつできていますか？	6		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		4
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1		6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・来所時スタッフからは良く挨拶をしてもらっている。
- ・看板等の設置はしないのか？地域に馴染むためにも設置したほうが良いのでは。

【前回の改善計画】

- ・移転後の地域の行事等を把握し参加出来る行事には少人数でも参加していく
- ・地域の方が参加できるような「カフェ」の開催を検討し、実施する

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・昨年も話が出たが、事業所に相談する方は関わりのある方なので、地域の方は包括支援センターや民生委員さんで良いのでは？何かあればそちらに行くのが今は多いと思う。
- ・新しい事をやろうとするのも大事だが、今やれていることを継続してほしい。
- ・たわわ祭に変わるイベントを開催した。今回は中に目を向けたが、次回は地域に目を向けて考えていきたい。
- ・カフェの開催が1月で5月から継続している。参加人数はまだ少ないが続けていきたい。
- ・地域の行事に参加できるスタッフ人員の確保が困難。今後はもう少し積極的に声がけ促しをしたい。

【改善計画】※後日記入

- ・スタッフと共に地域に出ていく。
近隣の散歩・買物等外に出ていく。
- ・地域に提供する場所
歩行中の近隣の方がお休みできるような場所を施設前の駐車場に提供をする。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	3	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議で地域の方の事例が包括職員・民生委員さんのほうから話が出た時はお手伝い出来る場合は対応している。
- ・大通りに移転したので、見学を含め立ち寄りの方が多い。

【前回の改善計画】

近隣への散歩を継続し、地域の方にスタッフが積極的に挨拶をして、馴染みの関係を構築する努力をする。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・元気高齢者対象の催しが多く認知症高齢者が参加できるイベントがあまりない。
- ・近所の方に見守りや訪問をお願いしても介護サービスに関わりだすと関係が薄くなる。
- ・地域に出ていくことは大切と思うが、利用者さんの心身状態をみると負担が大きいなと思う。落ち着いて過ごさせていれば「良し」としても良いのでは。
- ・地域の行事イベント参加は無理でも地域の事を話題にすることは必要だと思う
- ・近隣への散歩でも意味はある

【改善計画】※後日記入

- ・散歩・買物・外食等外に出る機会を多くする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議の報告でたわわの運営・利用状況は分かる。
- ・地域の困りごとや状況について会議の議題になるが解決策までは行かないが共有は出来てきている
- ・地域の役員さんから包括職員に相談したりしていることはある。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・地域の事は個人情報に触れる事が多いので詳しく話すことが難しい場合がある。
- ・地域の中で起こっている事に対して介護施設として関わりが持てる場合は積極的にお手伝いをしていくようにしている。
- ・様子も分かっているので相談しやすい雰囲気は出来ていると思う。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2		5
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	5	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・避難訓練は年2回実施しているので参加してほしい。
- ・自火報・スプリングクラーの使用方法を理解し万一の場合に備えていく。
- ・避難訓練の実施報告は運営推進会議で行っているのだからわわの様子は大体分かっている。
- ・地域の避難訓練の日程と合わず参加できなかった
- ・スタッフ

だけでも参加したほうが良い

【前回の改善計画】

- ・年2回地域の避難訓練に参加する

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていく。
- ・夜間の災害時はスタッフが少ないので避難できるのか？
- ・地域の協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後必要。
- ・天災は防ぎようが無いが自施設からの災害を出さないように十分注意していく。

【改善計画】※後日記入

- ・防災計画を立て年2回実施していく（9・3月）